

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松尾・堀
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
2	5月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
3	6月4日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月11日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール/ 青本で学校を理解する	ワークシート提出
5	6月18日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	ワークシート提出
6	6月25日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方 与える印象を理解する	ワークシート提出
7	7月2日	講義・演習	週報記載/電話の取り方/かけ方 与える印象を理解する	ワークシート提出
8	7月9日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
9	7月16日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
10	7月30日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
11	8月20日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
12	8月27日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
13	9月3日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
14	9月10日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座 事例検討をする	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松尾・堀
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
2	10月15日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月5日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月7日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月14日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月21日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月28日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/ 2年生の目標設定	レポート
15	2月11日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	レポート
準備学習 時間外学習		前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松尾・堀
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
2	5月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
3	6月5日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月12日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	ワークシート提出
5	6月19日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	6月26日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	7月3日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
8	7月10日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
9	7月31日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	8月21日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
11	8月28日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
12	9月4日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
13	9月11日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
14	9月18日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
15	9月25日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かっているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松尾・堀
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
2	10月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	レポート
15	2月12日	講義・演習	3年生に向けて	レポート
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(5)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	松尾・堀
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
2	5月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
3	6月5日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月12日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	ワークシート提出
5	6月19日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/2年生の復習	ワークシート提出
6	6月26日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/2年生の復習	ワークシート提出
7	7月3日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/2年生の復習	ワークシート提出
8	7月10日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/2年生の復習	ワークシート提出
9	7月31日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	8月21日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
11	8月28日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
12	9月4日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
13	9月11日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
14	9月18日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
15	9月25日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(6)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	松尾・堀
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
2	10月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	レポート
15	2月12日	講義・演習	4年生へ向けて	レポート
準備学習 時間外学習		前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(7)	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	松尾・堀
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
2	5月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
3	6月5日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月12日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	ワークシート提出
5	6月19日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/3年生の復習	ワークシート提出
6	6月26日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/3年生の復習	ワークシート提出
7	7月3日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/3年生の復習	ワークシート提出
8	7月10日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/3年生の復習	ワークシート提出
9	7月31日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	8月21日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
11	8月28日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
12	9月4日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
13	9月11日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
14	9月18日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
15	9月25日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かっているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(8)	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	松尾・堀
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	レポート
2	10月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニケーションを学ぶ	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	レポート
15	2月12日	講義・演習	社会人に向けて	レポート
準備学習 時間外学習		前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(1) イベント企画A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	斎藤 慧
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	5月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	6月1日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	6月8日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	6月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	6月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	6月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	7月6日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	7月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チケットについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	7月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	7月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	8月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	8月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	9月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(1) イベント企画B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	斎藤 慧
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ:気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	5月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	6月1日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	6月8日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	6月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	6月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	6月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	7月6日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	7月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チケットについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	7月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	7月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	8月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	8月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	9月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(2) イベント企画A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	斎藤 慧
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月9日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジュールリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月7日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベントとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーパーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	1月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	1月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	2月1日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	2月8日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(2) イベント企画B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	斎藤 慧
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月9日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジュールリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月7日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベントとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーパーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	1月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	1月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	2月1日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	2月8日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Direction Theory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小林 洋二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台、ライブの基礎知識の習得 ・実際のライブ映像を使用して、演出の考察 						
到達目標	舞台・ライブ演出や演出理論の基礎を学ぶ						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演出を学ぶ	レポート
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演出を学ぶ	レポート
3	6月2日	講義・演習	オリエンテーション	レポート
4	6月9日	講義・演習	ライブ演出考察 1-1	レポート
5	6月16日	講義・演習	舞台用語・劇場概論 1-1	レポート
6	6月23日	講義・演習	舞台用語・劇場概論 1-2	レポート
7	6月30日	講義・演習	ライブ演出考察 1-2	レポート
8	7月8日	講義・演習	ライブ演出考察 1-3	レポート
9	7月14日	講義・演習	舞台監督論 1	レポート
10	7月21日	講義・演習	舞台美術模型の製作1-1	製作
11	7月28日	講義・演習	舞台美術模型の製作1-2	製作
12	8月12日	講義・演習	各種資料の読解1-1	プレゼン資料の作成
13	8月25日	講義・演習	ライブ演出プランニング 1-1	レポート
14	9月1日	講義・演習	ライブ演出プランニング 1-2	プレゼン資料の作成
15	9月15日	講義・演習	ビジネス基礎論・前期テスト	レポート
準備学習 時間外学習			自ら進んで、ライブ映像を見て演出を考える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Direction Theory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小林 洋二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブ運営・設営の資料への理解、読解力の習得 ・実際のライブ映像を使用して、演出論の考察 						
到達目標	舞台・ライブ演出や演出理論の基礎を学ぶ 他分野アートへ視野を広める						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して演出を学ぶ	前期復習
2	10月13日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して演出を学ぶ	レポート
3	10月20日	講義・演習	オリエンテーション	レポート
4	11月10日	講義・演習	ライブ演出考察 1-5	レポート
5	11月17日	講義・演習	各種資料の読解 1-2	レポート
6	11月24日	講義・演習	各種資料の作成 1	レポート
7	12月1日	講義・演習	ライブ演出考察 1-6	レポート
8	12月8日	講義・演習	ライブ演出プランニング 1-3	プレゼン資料の作成
9	12月15日	講義・演習	ライブ演出プランニング 1-4	プレゼン資料の作成
10	12月22日	講義・演習	他分野アートの理解 1-2	レポート
11	1月12日	講義・演習	他分野アートの学外実習 1-2	レポート
12	1月19日	講義・演習	舞台美術プランニング 1	レポート
13	1月26日	講義・演習	ライブ演出プランニング1-2	プレゼン資料の作成
14	2月9日	講義・演習	ライブ演出考察1-4	レポート
15	2月16日	講義・演習	1年のまとめ・後期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		自ら進んで、ライブ映像を見て演出を考える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-ProTools(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	DAWを使用したオーディオ編集技術は現代ミュージシャンにとって欠かせない技術の一つである。よって、一人一台のPCを使用し、各授業ごとにテーマに沿った課題を作成し、基本的な操作方法や各種機能の使用方法など、確実に身に付けられるよう授業を展開する。						
到達目標	Protoolsの基本的な操作方法を理解し、オーディオの編集作業を行える能力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	スタートアップガイド 目的と概要説明・macの基礎	講義で作成したものを各自で作成
2	5月27日	講義・演習	DAWとは(各種概要解説)	講義で作成したものを各自で作成
3	6月3日	講義・演習	DAW立ち上げ・セッション作成・ 各種ウィンドウの説明	講義で作成したものを各自で作成
4	6月10日	講義・演習	オーディオインポート・クリップトラックの 作成・ショートカットキーの説明	講義で作成したものを各自で作成
5	6月17日	講義・演習	オーディオの編集 (波形分割・コピー&ペースト・マーカー他)	講義で作成したものを各自で作成
6	6月24日	講義・演習	楽曲の分割・サイズ変更・書き出し	作成したデータの整理・復習
7	7月1日	講義・演習	オーディオの編集 (フェード・トリミング・サイズ変更)	講義で作成したものを各自で作成
8	7月8日	講義・演習	オーディオの編集 (カットアップ)	講義で作成したものを各自で作成
9	7月15日	講義・演習	複数トラックインポート (各種レベル、PAN調整)	講義で作成したものを各自で作成
10	7月22日	講義・演習	オートメーション作成 (ボリューム・PAN・ミュート他)	講義で作成したものを各自で作成
11	7月29日	講義・演習	オートメーション作成 (touch、latch、writeでの作成)	講義で作成したものを各自で作成
12	8月5日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (タクトランジェント他)	講義で作成したものを各自で作成
13	8月19日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (初級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
14	8月26日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (上級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
15	9月2日	講義・演習	実技・筆記試験	試験の準備としてProtoolsの操作を 授業外で練習する
準備学習 時間外学習			Protoolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	AT-ProTools(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	DAWを使用したオーディオ編集技術は現代ミュージシャンにとって欠かせない技術の一つである。よって、一人一台のPCを使用し、各授業ごとにテーマに沿った課題を作成し、基本的な操作方法や各種機能の使用方法など、確実に身に付けられるよう授業を展開する。						
到達目標	各自、自宅システムの構築を想定する場合に必要な機材を知り、自らの演奏データの編集、書き出し等を行える知識を有することを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	自宅システムの構築方法 (インターフェース・マイク・ケーブル等について)	各自必要なものを考える
2	10月14日	講義・演習	自宅システムの構築方法とレコーディングについて	各自必要なものを考える
3	10月21日	講義・演習	エフェクト解説 (イコライザー)	講義で作成したものを各自で作成
4	11月11日	講義・演習	エフェクト実践 (イコライザーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
5	11月18日	講義・演習	エフェクト解説 (コンプレッサー)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月25日	講義・演習	エフェクト実践 (コンプレッサーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
7	12月2日	講義・演習	オーディオの録音	講義で作成したものを各自で作成
8	12月9日	講義・演習	オーディオ編集 (クロスフェード・メドレー作成)	講義で作成したものを各自で作成
9	12月16日	講義・演習	オーディオ編集 (クオンタイズ・ストリップサイレンス)	講義で作成したものを各自で作成
10	1月6日	講義・演習	オーディオ編集 (テンポ変更・トランスポーズ)	講義で作成したものを各自で作成
11	1月13日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (プリロール・ポストロール他)	講義で作成したものを各自で作成
12	1月20日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (各種環境設定等)	講義で作成したものを各自で作成
13	1月27日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
14	2月10日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
15	2月17日	講義・演習	実技・筆記試験	試験準備としてprotoolsの操作を 授業外で練習
準備学習 時間外学習			Protoolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林 達也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。 配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月30日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	6月6日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	6月13日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月20日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月27日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	7月4日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月11日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月18日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	8月1日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	8月8日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月22日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月29日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月5日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月12日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林 達也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。 配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月17日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	11月3日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月14日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月21日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月28日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	12月7日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月12日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月19日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	1月9日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月16日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月23日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月30日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月13日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月20日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学び理解し説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	グレゴリアンチャント、チャーチモード、記譜法の復習レポート
2	5月25日	講義・演習	スコット・ジョプリン(1868-1917)の説明ができる。	中世の西洋音楽の復習レポート
3	6月1日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
4	6月8日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971)“ジャズ”について説明できる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
5	6月15日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
6	6月22日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
7	6月29日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
8	7月6日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
9	7月13日	講義・演習	中間確認テスト	1～8回までの復習総括レポート
10	7月20日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
11	7月27日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
12	8月3日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家①の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
13	8月17日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
14	8月24日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の説明の説明をすることができる。	1～14回までの復習総括レポート
15	8月31日	講義・演習	学期末試験及び、学期末課題の発表・提出。	総復習総括レポート
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	音楽史(2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学び理解し説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史を説明できる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	ロックミュージックのルーツを解説できる。	ロックミュージックの復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	ロックンロールの誕生について解説できる。	ロックンロールの復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	フォークミュージックの誕生とムーヴメントについて解説できる。	フォークミュージックの復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ブリティッシュミュージックについて説明できる。	ブリティッシュ音楽の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	The Beatlesについて説明できる。	ビートルズについて復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	モータウンレーベルの誕生について説明できる。	モータウンレーベルについての復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	中間確認テスト	1～7回の復習
9	12月14日	講義・演習	1960年代のアメリカ、フラワームーヴメントについて説明できる。	1960年代の音楽の研究復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	ハードロック、グラムロックについて説明できる。	グラムロックの研究復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ハードロックのポピュラー化について説明できる。	ハードロックの復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	パンクミュージックについて説明できる。	パンク音楽の復習レポートにおこす。
13	2月1日	講義・演習	MTVについて 80年代について説明できる。	MTV80年代の研究復習レポートにおこす。
14	2月8日	講義・演習	ハウスミュージックについてについて説明できる。	ハウスミュージックの復習レポートにおこす。
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1～14回の復習レポートにおこす。
準備学習 時間外学習			ロック&ポップスについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	Contemporary MusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法を学び作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	音とは・鍵盤・音名・変化記号・五線・音部記号・譜表	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	5月26日	講義・演習	音符・休符・拍子・拍子記号	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	6月2日	講義・演習	曲の進行に関する記号等・略記法・速さや強さに関する記号・奏法に関する記号	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	6月9日	講義・演習	メジャー スケールと全音・半音	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	6月16日	講義・演習	マイナー スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月23日	講義・演習	五度圏・調号・調関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月30日	講義・演習	インターバルの度数と名称	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	7月7日	講義・演習	転回・単音程・複音程・協和音程と不協和音程	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	7月14日	講義・演習	コードの定義・コード シンボル	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月21日	講義・演習	トライアドとその転回形	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月28日	講義・演習	セブンスコードとその転回形	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	8月4日	講義・演習	シックスコード・サスフォー コード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月18日	講義・演習	ナチュラル テンションとその意味	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	8月25日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	9月1日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Contemporary MusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	ContemporaryMusicTheory(1)で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	メジャー ダイアトニックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月13日	講義・演習	ダイアトニックコードプログレッション・ケーデンス	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月20日	講義・演習	ダイアトニックコードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	11月10日	講義・演習	プライマリードミナント・セカンダリードミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月17日	講義・演習	セカンダリードミナントのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月24日	講義・演習	ディセプティブ リゾリューション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	12月1日	講義・演習	ツー ファイブ・リレイティッドツーファイブとそのスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月8日	講義・演習	ハーモニックリズム	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月15日	講義・演習	エクステンディドミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月22日	講義・演習	インターポレイティッド コード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月12日	講義・演習	ナチュラル マイナー スケールのダイアトニックコードとその機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月19日	講義・演習	ハーモニックマイナー・メロディックマイナーのダイアトニックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月26日	講義・演習	マイナー ダイアトニックコードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月9日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	2月16日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記法、聴取力について講義、ワークブックを通じて学ぶ。講義内容は、リズム、メロディー、ハーモニーのトレーニングの3つからなる。						
到達目標	現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法、聴取力を身につけ、作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分、Cナチュラルマイナー/Me、Le、Te(跳躍なし)	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	5月29日	講義・演習	Cメジャー/Fa、Sol、Mi※テンデンシートーン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	6月5日	講義・演習	4/4、クォーターノート(レスト)	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	6月12日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)、符点8分を加えるマイナーセブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	6月19日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)、符点8分を加えるマイナーセブンストファイブコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月26日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、トウエルブエイト、16th ノート(レスト)、符点8分を加える、メジャーダイアトリックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	7月3日	講義・演習	4/4、3/4、シックスエイト、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	7月10日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	7月17日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月31日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符 B♭メジャー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	8月7日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符、2拍3連、サスフォーコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	8月21日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符、2拍3連、3拍4連、マイナーシックス、マイナーメジャーセブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月28日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分、C、F、Gメジャー トレブル、ベースクレフ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	9月4日	講義・演習	エクストラプラクティス、レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	9月11日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習		テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Ear Training(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記法、聴取力について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	ET1で学んだ内容をさらに広げ、現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法、聴取力を身につけ、作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分、Cナチュラルマイナー/Me、Le、Te(跳躍なし)	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月16日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)を加える Cナチュラルマイナー(跳躍少なめ)	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	11月6日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)を加える Cナチュラルマイナー(跳躍あり)	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	11月13日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)、符点8分を加える マイナーセブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月20日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)、符点8分を加える マイナーセブンストファイブコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月27日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、トウエルブエイト、16th ノート(レスト)、符点8分を加える、メジャーダイアトニックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	12月4日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符を加える	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月11日	講義・演習	ダイアトニックベースモーション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月18日	講義・演習	セカンダリードミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	1月8日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符 B♭メジャー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月15日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符、2拍3連、サスフォーコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月22日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符、2拍3連、3拍4連、マイナーシックス、マイナーメジャーセブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月29日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、32分音符の紹介 マイナーダイアトニックベースモーション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月12日	講義・演習	エクストラプラクティス、レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	2月19日	講義・演習	期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	English Intensive Program(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺傑
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外留学準備に向けた英会話の基礎、応用を学ぶ。						
到達目標	外国人との英会話でのコミュニケーションを取れるようになり、音楽専門用語についても英語での理解を深めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ1	ワークシートを用いた自習と復習
2	5月29日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ2	ワークシートを用いた自習と復習
3	6月5日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ3	ワークシートを用いた自習と復習
4	6月12日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ4	ワークシートを用いた自習と復習
5	6月19日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ5	ワークシートを用いた自習と復習
6	6月26日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ6	ワークシートを用いた自習と復習
7	7月3日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ7	ワークシートを用いた自習と復習
8	7月10日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ8	ワークシートを用いた自習と復習
9	7月17日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ9	ワークシートを用いた自習と復習
10	7月31日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ10	ワークシートを用いた自習と復習
11	8月7日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ11	ワークシートを用いた自習と復習
12	8月21日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ12	ワークシートを用いた自習と復習
13	8月28日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ13	ワークシートを用いた自習と復習
14	9月4日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ14	ワークシートを用いた自習と復習
15	9月11日	講義・演習	前期テスト・総復習	ワークシートを用いた自習と復習
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いた自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、ワークシート				

科目名	English Intensive Program(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺傑
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外留学準備に向けた英会話の基礎、応用を学ぶ。						
到達目標	外国人との英会話でのコミュニケーションを取れるようになり、音楽専門用語についても英語での理解を深めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ15	ワークシートを用いた自習と復習
2	10月16日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ16	ワークシートを用いた自習と復習
3	11月6日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ17	ワークシートを用いた自習と復習
4	11月13日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ18	ワークシートを用いた自習と復習
5	11月20日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ19	ワークシートを用いた自習と復習
6	11月27日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ20	ワークシートを用いた自習と復習
7	12月4日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ21	ワークシートを用いた自習と復習
8	12月11日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ22	ワークシートを用いた自習と復習
9	12月18日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ23	ワークシートを用いた自習と復習
10	1月8日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ24	ワークシートを用いた自習と復習
11	1月15日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ25	ワークシートを用いた自習と復習
12	1月22日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ26	ワークシートを用いた自習と復習
13	1月29日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ27	ワークシートを用いた自習と復習
14	2月12日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての 対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ28	ワークシートを用いた自習と復習
15	2月19日	講義・演習	後期テスト・総復習	ワークシートを用いた自習と復習
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いた自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、ワークシート				

科目名	Direction Theory(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林 洋二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台の基礎知識の習得 ・実際のライブ映像を使用して、演出論の考察 						
到達目標	舞台・ライブ演出や演出理論の基礎を学ぶ						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演出を学ぶ	レポート
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演出を学ぶ	レポート
3	6月2日	講義・演習	オリエンテーション	レポート
4	6月9日	講義・演習	ライブ演出考察 2-1	レポート・プレゼン
5	6月16日	講義・演習	舞台用語・劇場概論 2-1	レポート
6	6月23日	講義・演習	舞台用語・劇場概論 2-2	レポート
7	6月30日	講義・演習	ライブ演出考察 2-2	レポート・プレゼン
8	7月8日	講義・演習	ライブ演出考察 2-3	レポート・プレゼン
9	7月14日	講義・演習	各種資料の読解 2-1	レポート
10	7月21日	講義・演習	舞台監督論 2	レポート
11	7月28日	講義・演習	他分野アートの学外実習 1	レポート
12	8月12日	講義・演習	ライブ演出プランニング 2-1	プレゼン資料の作成
13	8月25日	講義・演習	ライブ演出プランニング 2-2	プレゼン資料の作成
14	9月1日	講義・演習	ライブ演出考察 2-4	レポート・プレゼン
15	9月15日	講義・演習	ビジネス基礎論・前期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		自ら進んで、ライブ映像を見て演出を考える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Direction Theory(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林 洋二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブ運営・設営の資料への理解、読解力の習得 ・実際のライブ映像を使用して、演出論の考察 						
到達目標	舞台・ライブ演出や演出理論の基礎を学ぶ 他分野アートへ視野を広める						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して演出を学ぶ	前期復習
2	10月13日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して演出を学ぶ	レポート
3	10月20日	講義・演習	オリエンテーション	レポート
4	11月10日	講義・演習	ライブ演出考察 2-5	レポート・プレゼン
5	11月17日	講義・演習	各種資料の読解 2-2	レポート
6	11月24日	講義・演習	各種資料の作成 2	レポート
7	12月1日	講義・演習	ライブ演出考察 2-6	レポート・プレゼン
8	12月8日	講義・演習	ライブ演出プランニング 2-3	プレゼン資料の作成
9	12月15日	講義・演習	ライブ演出プランニング 2-4	プレゼン資料の作成
10	12月22日	講義・演習	他分野アートの理解 2	レポート
11	1月12日	講義・演習	他分野アートの学外実習 2-2	レポート
12	1月19日	講義・演習	舞台美術プランニング	レポート
13	1月26日	講義・演習	舞台美術模型の製作 2-1	製作
14	2月9日	講義・演習	舞台美術模型の製作 2-2	製作
15	2月16日	講義・演習	2年のまとめ・後期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		自ら進んで、ライブ映像を見て演出を考える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-ProTools(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	足立優
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	DAWを使用したオーディオ編集技術は現代ミュージシャンにとって欠かせない技術の一つである。よって、一人一台のPCを使用し、各授業ごとにテーマに沿った課題を作成し、基本的な操作方法や各種機能の使用方法など、確実に身に付けられるよう授業を展開する。						
到達目標	Protoolsの基本的な操作方法を理解し、オーディオの編集作業を行える能力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	スタートアップガイダンス 目的と概要説明・macの基礎	講義で作成したものを各自で作成
2	5月27日	講義・演習	DAWとは(各種概要解説)	講義で作成したものを各自で作成
3	6月3日	講義・演習	DAW立ち上げ・セッション作成・ 各種ウィンドウの説明	講義で作成したものを各自で作成
4	6月10日	講義・演習	オーディオインポート・クリップトラックの 作成・ショートカットキーの説明	講義で作成したものを各自で作成
5	6月17日	講義・演習	オーディオの編集 (波形分割・コピー&ペースト・マーカー他)	講義で作成したものを各自で作成
6	6月24日	講義・演習	楽曲の分割・サイズ変更・書き出し	作成したデータの整理・復習
7	7月1日	講義・演習	オーディオの編集 (フェード・トリミング・サイズ変更)	講義で作成したものを各自で作成
8	7月8日	講義・演習	オーディオの編集 (カットアップ)	講義で作成したものを各自で作成
9	7月15日	講義・演習	複数トラックインポート (各種レベル、PAN調整)	講義で作成したものを各自で作成
10	7月22日	講義・演習	オートメーション作成 (ボリューム・PAN・ミュート他)	講義で作成したものを各自で作成
11	7月29日	講義・演習	オートメーション作成 (touch、latch、writeでの作成)	講義で作成したものを各自で作成
12	8月5日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (タクトランジェント他)	講義で作成したものを各自で作成
13	8月19日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (初級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
14	8月26日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (上級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
15	9月2日	講義・演習	実技・筆記試験	試験の準備としてProtoolsの操作を 授業外で練習する
準備学習 時間外学習			Protoolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	AT-ProTools(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	足立優
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	前期で身につけたスキルを実践し、自身の音源政策を自身で行える知識を身につけられるよう授業を展開する。						
到達目標	各自、自宅システムの構築を想定する場合に必要な機材を知り、自らの演奏データの編集、書き出し等を行える知識を有することを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	自宅システムの構築方法 (インターフェース・マイク・ケーブル等について)	各自必要なものを考える
2	10月14日	講義・演習	自宅システムの構築方法とレコーディングについて	各自必要なものを考える
3	10月21日	講義・演習	エフェクト解説 (イコライザー)	講義で作成したものを各自で作成
4	11月11日	講義・演習	エフェクト実践 (イコライザーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
5	11月18日	講義・演習	エフェクト解説 (コンプレッサー)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月25日	講義・演習	エフェクト実践 (コンプレッサーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
7	12月2日	講義・演習	オーディオの録音	講義で作成したものを各自で作成
8	12月9日	講義・演習	オーディオ編集 (クロスフェード・メドレー作成)	講義で作成したものを各自で作成
9	12月16日	講義・演習	オーディオ編集 (クオンタイズ・ストリップサイレンス)	講義で作成したものを各自で作成
10	1月6日	講義・演習	オーディオ編集 (テンポ変更・トランスポーズ)	講義で作成したものを各自で作成
11	1月13日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (プリロール・ポストロール他)	講義で作成したものを各自で作成
12	1月20日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (各種環境設定等)	講義で作成したものを各自で作成
13	1月27日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
14	2月10日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
15	2月17日	講義・演習	実技・筆記試験	試験準備としてprotocolsの操作を 授業外で練習
準備学習 時間外学習			Protocolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Contemporary Music Theory(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮地遼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる演奏者、作曲・編曲を行う者に必要なハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	Contemporary Music Theory(2)で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	サブスティテュートドミナントコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	5月26日	講義・演習	サブスティテュートドミナントのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	6月2日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	6月9日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダルインターチェンジ ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	6月16日	講義・演習	モーダル インターチェンジコードのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月23日	講義・演習	モーダル インターチェンジコードの分析	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月30日	講義・演習	マイナー キーにおけるモーダル インターチェンジ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	7月7日	講義・演習	マイナーキーにおけるモーダル インターチェンジ ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	7月14日	講義・演習	モーダル インターチェンジコードのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月21日	講義・演習	モーダル インターチェンジコードの分析	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月28日	講義・演習	ブルースについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	8月4日	講義・演習	ブルースのコード進行とそのヴァリエーション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月18日	講義・演習	ドミナント ファンクションを持たないドミナント セブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	8月25日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	9月1日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Contemporary Music Theory(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮地遼
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	演奏者、作曲・編曲・制作を行う者に必要な、ハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代のポピュラー音楽を演奏、作曲、編曲、制作を行うにあたって必須となるハーモニーの知識を、実際に演奏・作曲・編曲するレベルまで身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ディミニッシュコードとその種類・機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月13日	講義・演習	ディミニッシュコードの解決	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月20日	講義・演習	ディミニッシュコードのテンションとコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	11月10日	講義・演習	ディミニッシュコードとドミナントセブンスコードの関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月17日	講義・演習	転調の意味と種類	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月24日	講義・演習	転調の方法	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	12月1日	講義・演習	ヴォイスリーディングとガイドトーンライン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月8日	講義・演習	ペダルポイント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月15日	講義・演習	オスティナートについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月22日	講義・演習	コンパウンドコードとその構造・使い方	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月12日	講義・演習	コンスタントストラクチャー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月19日	講義・演習	モーダルハーモニーの紹介	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月26日	講義・演習	モーダルハーモニーとコードハーモニー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月9日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	2月16日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Ear Training(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場、特に演奏・楽曲制作で用いられる用語、記号、聴取力について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	演奏や楽曲制作に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法、聴取力を身につけ、作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符 メジャー、3種のマイナーレビュ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	5月29日	講義・演習	Cミクソリディアン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	6月5日	講義・演習	Cミクソリディアン プライマリードミナントのサブステイテュードミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	6月12日	講義・演習	ミクソリディアン(3♭3#)	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	6月19日	講義・演習	Dリディアン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月26日	講義・演習	Dリディアン ドミナントセブンスコードのテンション(オルタード)	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	7月3日	講義・演習	Dリディアン(3♭3#) モーダルインターチェンジコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	7月10日	講義・演習	Cリディアン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	7月17日	講義・演習	Cリディアン モーダルインターチェンジコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月31日	講義・演習	リディアン(3♭3#) ブルースコードプログレッションとヴァリエーション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	8月7日	講義・演習	Cフリジアン ブルースコードプログレッションの発展型	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	8月21日	講義・演習	Cフリジアン ノンファンクショナルドミナントセブンスコード①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月28日	講義・演習	フリジアン(3♭3#) ノンファンクショナルドミナントセブンスコード②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	9月4日	講義・演習	エクストラプラクティス、レビュ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	9月11日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習		テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Ear Training(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場、特に演奏・楽曲制作で用いられる用語、記号、聴取力について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	演奏や楽曲制作に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法、聴取力を身につけ、作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	半音階的な音"Fi"と"Se" インターバル復習	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月16日	講義・演習	半音階的な音"Fi"と"Se" 16分音符のグルーピング レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	11月6日	講義・演習	コード進行の中でのデミニッシュコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	11月13日	講義・演習	転調とそのパターン①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月20日	講義・演習	転調とそのパターン②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月27日	講義・演習	ガイドーンライン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	12月4日	講義・演習	ペダルポイントとオスティナート	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月11日	講義・演習	ハイブリッドコードストラクチャー①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月18日	講義・演習	ハイブリッドコードストラクチャー②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	1月8日	講義・演習	モダンなコード進行①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月15日	講義・演習	モダンなコード進行②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月22日	講義・演習	モダンなコード進行③	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月29日	講義・演習	モダンなコード進行④	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月12日	講義・演習	エクストラプラクティス、レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	2月19日	講義・演習	期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習		テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林 達也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月30日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	6月6日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	6月13日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月20日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月27日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	7月4日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月11日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月18日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	8月1日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	8月8日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月22日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月29日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月5日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月12日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林 達也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月17日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	11月3日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月14日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月21日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(3)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月28日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	12月7日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月12日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月19日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	1月9日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月16日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月23日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月30日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月13日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月20日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	English Intensive Program(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺傑
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外留学準備に向けた英会話の基礎、応用を学ぶ。						
到達目標	外国人との英会話でのコミュニケーションを取れるようになり、音楽専門用語についても英語での理解を深めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ1	ワークシートを用いた自習と復習
2	5月29日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ2	ワークシートを用いた自習と復習
3	6月5日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ3	ワークシートを用いた自習と復習
4	6月12日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ4	ワークシートを用いた自習と復習
5	6月19日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ5	ワークシートを用いた自習と復習
6	6月26日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ6	ワークシートを用いた自習と復習
7	7月3日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ7	ワークシートを用いた自習と復習
8	7月10日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ8	ワークシートを用いた自習と復習
9	7月17日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ9	ワークシートを用いた自習と復習
10	7月31日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ10	ワークシートを用いた自習と復習
11	8月7日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ11	ワークシートを用いた自習と復習
12	8月21日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ12	ワークシートを用いた自習と復習
13	8月28日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ13	ワークシートを用いた自習と復習
14	9月4日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ14	ワークシートを用いた自習と復習
15	9月11日	講義・演習	前期テスト・総復習	ワークシートを用いた自習と復習
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いた自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、ワークシート				

科目名	English Intensive Program(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺傑
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外留学準備に向けた英会話の基礎、応用を学ぶ。						
到達目標	外国人との英会話でのコミュニケーションを取れるようになり、音楽専門用語についても英語での理解を深めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで日常会話を学ぶ15	ワークシートを用いた自習と復習
2	10月16日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ16	ワークシートを用いた自習と復習
3	11月6日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ17	ワークシートを用いた自習と復習
4	11月13日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ18	ワークシートを用いた自習と復習
5	11月20日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ19	ワークシートを用いた自習と復習
6	11月27日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ20	ワークシートを用いた自習と復習
7	12月4日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ21	ワークシートを用いた自習と復習
8	12月11日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ22	ワークシートを用いた自習と復習
9	12月18日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ23	ワークシートを用いた自習と復習
10	1月8日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ24	ワークシートを用いた自習と復習
11	1月15日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ25	ワークシートを用いた自習と復習
12	1月22日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ26	ワークシートを用いた自習と復習
13	1月29日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ27	ワークシートを用いた自習と復習
14	2月12日	講義・演習	オリジナルテキストを用いての対面型コミュニケーションで音楽用語を交えた単語と文法を学ぶ28	ワークシートを用いた自習と復習
15	2月19日	講義・演習	後期テスト・総復習	ワークシートを用いた自習と復習
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いた自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、ワークシート				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学び理解説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの地理・歴史について説明ができる。	アメリカの地理・歴史の復習レポートをまとめる。
2	5月25日	講義・演習	19世紀のアメリカとその音楽。	19世紀のアメリカの復習レポートをまとめる。
3	6月1日	講義・演習	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会について説明ができる。	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会の復習レポートをまとめる。
4	6月8日	講義・演習	ニューオーリンズ・ジャズについて説明ができる。	ニューオーリンズ・ジャズの復習レポートをまとめる。
5	6月15日	講義・演習	スイング・ジャズとビッグバンドについて説明ができる。	スイング・ジャズとビッグバンドの復習レポートをまとめる。
6	6月22日	講義・演習	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックについて説明ができる。	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックの復習レポートをまとめる。
7	6月29日	講義・演習	ハードバップ、アフロキューバン、そしてウエストコースト・ジャズについて説明ができる。	ハードバップ、アフロキューバン、の復習レポートをまとめる。
8	7月6日	講義・演習	中間試験、及び中間課題の発表・提出。	1～7回の復習レポートをまとめる。
9	7月13日	講義・演習	モードジャズの始まりと発展について説明ができる。	モードジャズの復習レポートをまとめる。
10	7月20日	講義・演習	フリージャズと呼ばれる音楽とそのスタイルについて説明ができる。	フリージャズの復習レポートをまとめる。
11	7月27日	講義・演習	"ビ・バップ"の発展とミュージシャンの変化について説明ができる。	"ビ・バップ"の復習レポートをまとめる。
12	8月3日	講義・演習	ロック・ジャズそれぞれについて説明ができる。	ロックに影響されるジャズの復習レポートをまとめる。
13	8月17日	講義・演習	ジャズと世界の音楽の交流について説明ができる。	ジャズと世界の音楽の交流の復習レポートをまとめる。
14	8月24日	講義・演習	現代、現在のジャズについて説明ができる。	現代、現在のジャズの復習レポートをまとめる。
15	8月31日	講義・演習	期末試験及び、期末課題の発表・提出。	1～14回の復習レポートをまとめる。
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
Music History				

科目名	音楽史(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	スコット・ジョップリン(1868-1917)の復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	デューク・エリントン(1899-1974)の復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971)“ジャズ”について説明できる。	ルイ・アームストロング(1901-1971)の復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ロバートジョンソン(1911-1938)ロック、ブルースについて説明できる。	ロバートジョンソン(1911-1938)の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	チャーリーパーカー(1920-1955)インプロヴィゼーションについて解説できる。	チャーリーパーカー(1920-1955)の復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	マイルス デイヴィス(1926-1991)について解説できる。	マイルス デイヴィス(1926-1991)の復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	その他のアフリカン-アメリカンアーティストについて説明ができる。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	12月14日	講義・演習	ジェームス ブラウン(1933-2006)ソウル、ファンクについて解説できる。	ジェームス ブラウン(1933-2006)の復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	クインシー ジョーンズ(1933-)プロデューサーについて説明できる。	クインシー ジョーンズ(1933-)の復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ジミヘンドリックス(1942-1970)について説明できる。	ジミヘンドリックス(1942-1970)の復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	モータウン(1959-1994)ポップスについて解説できる。	モータウン(1959-1994)の研究復習レポートをまとめる。
13	2月1日	講義・演習	スティーヴィー ワンダー(1950-)ソングライティングについて解説できる。	スティーヴィー ワンダー(1950-)の研究
14	2月8日	講義・演習	マイケル ジャクソン(1958-2009)モータウン、ポップスを解説できる。	マイケル ジャクソン(1958-2009)の研究
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習
準備学習 時間外学習			アフロミュージックについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	AT-ProTools(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	足立優
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	DAWを使用したオーディオ編集技術は現代ミュージシャンにとって欠かせない技術の一つである。よって、一人一台のPCを使用し、各授業ごとにテーマに沿った課題を作成し、基本的な操作方法や各種機能の使用方法など、確実に身に付けられるよう授業を展開する。						
到達目標	Protoolsの基本的な操作方法を理解し、オーディオの編集作業を行える能力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	スタートアップガイダンス 目的と概要説明・macの基礎	講義で作成したものを各自で作成
2	5月27日	講義・演習	DAWとは(各種概要解説)	講義で作成したものを各自で作成
3	6月3日	講義・演習	DAW立ち上げ・セッション作成・ 各種ウィンドウの説明	講義で作成したものを各自で作成
4	6月10日	講義・演習	オーディオインポート・クリップトラックの 作成・ショートカットキーの説明	講義で作成したものを各自で作成
5	6月17日	講義・演習	オーディオの編集 (波形分割・コピー&ペースト・マーカー他)	講義で作成したものを各自で作成
6	6月24日	講義・演習	楽曲の分割・サイズ変更・書き出し	作成したデータの整理・復習
7	7月1日	講義・演習	オーディオの編集 (フェード・トリミング・サイズ変更)	講義で作成したものを各自で作成
8	7月8日	講義・演習	オーディオの編集 (カットアップ)	講義で作成したものを各自で作成
9	7月15日	講義・演習	複数トラックインポート (各種レベル、PAN調整)	講義で作成したものを各自で作成
10	7月22日	講義・演習	オートメーション作成 (ボリューム・PAN・ミュート他)	講義で作成したものを各自で作成
11	7月29日	講義・演習	オートメーション作成 (touch、latch、writeでの作成)	講義で作成したものを各自で作成
12	8月5日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (タクトランジェント他)	講義で作成したものを各自で作成
13	8月19日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (初級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
14	8月26日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (上級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
15	9月2日	講義・演習	実技・筆記試験	試験の準備としてProtoolsの操作を 授業外で練習する
準備学習 時間外学習			Protoolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	AT-ProTools(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	足立優
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	前期で身につけたスキルを実践し、自身の音源政策を自身で行える知識を身につけられるよう授業を展開する。						
到達目標	各自、自宅システムの構築を想定する場合に必要な機材を知り、自らの演奏データの編集、書き出し等を行える知識を有することを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	自宅システムの構築方法 (インターフェース・マイク・ケーブル等について)	各自必要なものを考える
2	10月14日	講義・演習	自宅システムの構築方法とレコーディングについて	各自必要なものを考える
3	10月21日	講義・演習	エフェクト解説 (イコライザー)	講義で作成したものを各自で作成
4	11月11日	講義・演習	エフェクト実践 (イコライザーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
5	11月18日	講義・演習	エフェクト解説 (コンプレッサー)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月25日	講義・演習	エフェクト実践 (コンプレッサーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
7	12月2日	講義・演習	オーディオの録音	講義で作成したものを各自で作成
8	12月9日	講義・演習	オーディオ編集 (クロスフェード・メドレー作成)	講義で作成したものを各自で作成
9	12月16日	講義・演習	オーディオ編集 (クオンタイズ・ストリップサイレンス)	講義で作成したものを各自で作成
10	1月6日	講義・演習	オーディオ編集 (テンポ変更・トランスポーズ)	講義で作成したものを各自で作成
11	1月13日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (プリロール・ポストロール他)	講義で作成したものを各自で作成
12	1月20日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (各種環境設定等)	講義で作成したものを各自で作成
13	1月27日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
14	2月10日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
15	2月17日	講義・演習	実技・筆記試験	試験準備としてprotoolsの操作を 授業外で練習
準備学習 時間外学習			Protoolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ライブ制作プロジェクト(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里 子 堀夏美
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	レポート
2	5月30日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	レポート
3	6月6日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	レポート
4	6月13日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	レポート
5	6月20日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成できる	レポート
6	6月27日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションができるようになる	レポート
7	7月4日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	レポート
8	7月11日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	レポート
9	7月18日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	レポート
10	8月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	レポート
11	8月22日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	レポート
12	8月29日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	レポート
13	9月5日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	レポート
14	9月12日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月19日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内での制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ライブ制作プロジェクト(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里 子 堀夏美
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM ! を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM ! を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内での制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Direction Theory(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小林 洋二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種舞台の知識の習得 ・実際のステージ映像を使用して、演出論の考察 ・ビジネスパーソンとしての常識、知識の習得 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の舞台演出手法を学ぶ ・分野にとらわれない演出理論を学ぶ 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演出を学ぶ	レポート
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演出を学ぶ	レポート
3	6月2日	講義・演習	オリエンテーション	復習
4	6月9日	講義・演習	ライブ演出プレゼンテーション 1-1	レポート
5	6月16日	講義・演習	ライブ演出プレゼンテーション 1-2	レポート
6	6月23日	講義・演習	演劇・ミュージカル演出考察 1-1	レポート
7	6月30日	講義・演習	演劇・ミュージカル演出考察 1-2	レポート
8	7月8日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 1-1	レポート
9	7月14日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 1-2	ブレンストーミングの実践
10	7月21日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 1-3	実践
11	7月28日	講義・演習	他分野アートの学外実習 3-1	レポート
12	8月12日	講義・演習	ビジネス論・経営理論	レポート
13	8月25日	講義・演習	エンターテイメント演出考察 1-1	レポート
14	9月1日	講義・演習	エンターテイメント演出考察 1-2	レポート
15	9月15日	講義・演習	前期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		自ら進んで、ライブ映像を見て演出を考える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Direction Theory(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小林 洋二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種舞台の知識の習得 ・実際のステージ映像を使用して、演出論の考察 ・ビジネスパーソンとしての常識、知識の習得 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の舞台演出手法を学ぶ ・分野にとらわれない演出理論を学ぶ 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して演出を学ぶ	前期復習
2	10月13日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して演出を学ぶ	レポート
3	10月20日	講義・演習	オリエンテーション	レポート
4	11月10日	講義・演習	ビジネスマナー・起業論	レポート
5	11月17日	講義・演習	舞台スタッフ総論 1-1	レポート
6	11月24日	講義・演習	演劇・ミュージカル演出考察 1-3	レポート
7	12月1日	講義・演習	演劇・ミュージカル演出考察 1-4	レポート
8	12月8日	講義・演習	エンターテイメント演出考察 1-1	レポート
9	12月15日	講義・演習	エンターテイメント演出考察 1-2	レポート
10	12月22日	講義・演習	海外エンターテイメントの理解 1-1	レポート
11	1月12日	講義・演習	他分野アートの学外実習 3-2	レポート
12	1月19日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 1-4	レポート
13	1月26日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 1-5	ブレンストーミングの実践
14	2月9日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 1-6	実践
15	2月16日	講義・演習	後期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		自ら進んで、ライブ映像を見て演出を考える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) Ba Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なボサノバのパターンを例題にて説明する。	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
2	5月26日	講義・演習	ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なサンバのパターンを例題にて説明する。	次のChapterのエクササイズの実習、未達成箇所の復習
3	6月2日	講義・演習	ボサノバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
4	6月9日	講義・演習	サンバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
5	6月16日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
6	6月23日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
7	6月30日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
8	7月7日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
9	7月14日	講義・演習	フロ・キューバン・フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なルンバ・パターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
10	7月21日	講義・演習	フロ・キューバン・フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なソング・パターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
11	7月28日	講義・演習	ルンバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
12	8月4日	講義・演習	ソングのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
13	8月18日	講義・演習	ジャズ・フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
14	8月25日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月1日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player				

科目名	楽器応用(5) Key SPL(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	キーボード、ピアノを用いてメロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、キーボード、ピアノを演奏するための基礎技術を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	8月25日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	9月1日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習		講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	楽器応用(6) Ba Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ジャズ・フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの練習、未達成箇所の復習
2	10月13日	講義・演習	ジャズ・フュージョンのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの練習、未達成箇所の復習
3	10月20日	講義・演習	ジャズ・フュージョンのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
4	11月10日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
5	11月17日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
6	11月24日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ファンク)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
7	12月1日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ファンク)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
8	12月8日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(バウンス・フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
9	12月15日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(バウンス・フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
10	12月22日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(6/8拍子)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
11	1月12日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(6/8拍子)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
12	1月19日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(サンバ)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
13	1月26日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ソング)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
14	2月9日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	2月16日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(6) Key SPL(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	キーボード、ピアノを用いてメロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための基礎技術を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	English Intensive Program(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	渡辺傑
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外留学準備に向けた英会話の基礎、応用を学ぶ。						
到達目標	外国人との英会話でのコミュニケーションを取れるようになり、音楽専門用語についても英語での理解を深めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ1	ワークシートを用いた自習と復習
2	5月29日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ2	ワークシートを用いた自習と復習
3	6月5日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ3	ワークシートを用いた自習と復習
4	6月12日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ4	ワークシートを用いた自習と復習
5	6月19日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ5	ワークシートを用いた自習と復習
6	6月26日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ6	ワークシートを用いた自習と復習
7	7月3日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ7	ワークシートを用いた自習と復習
8	7月10日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ8	ワークシートを用いた自習と復習
9	7月17日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ9	ワークシートを用いた自習と復習
10	7月31日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ10	ワークシートを用いた自習と復習
11	8月7日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ11	ワークシートを用いた自習と復習
12	8月21日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ12	ワークシートを用いた自習と復習
13	8月28日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ13	ワークシートを用いた自習と復習
14	9月4日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ14	ワークシートを用いた自習と復習
15	9月11日	講義・演習	前期テスト・総復習	ワークシートを用いた自習と復習
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いた自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、ワークシート				

科目名	English Intensive Program(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	渡辺傑
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外留学準備に向けた英会話の基礎、応用を学ぶ。						
到達目標	外国人との英会話でのコミュニケーションを取れるようになり、音楽専門用語についても英語での理解を深めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ15	ワークシートを用いた自習と復習
2	10月16日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ16	ワークシートを用いた自習と復習
3	11月6日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ17	ワークシートを用いた自習と復習
4	11月13日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ18	ワークシートを用いた自習と復習
5	11月20日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ19	ワークシートを用いた自習と復習
6	11月27日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ20	ワークシートを用いた自習と復習
7	12月4日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ21	ワークシートを用いた自習と復習
8	12月11日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ22	ワークシートを用いた自習と復習
9	12月18日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ23	ワークシートを用いた自習と復習
10	1月8日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ24	ワークシートを用いた自習と復習
11	1月15日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ25	ワークシートを用いた自習と復習
12	1月22日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ26	ワークシートを用いた自習と復習
13	1月29日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ27	ワークシートを用いた自習と復習
14	2月12日	講義・演習	現場を想定した対面型コミュニケーションで単語と文法と細かなイントネーションを学ぶ28	ワークシートを用いた自習と復習
15	2月19日	講義・演習	後期テスト・総復習	ワークシートを用いた自習と復習
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いた自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、ワークシート				

科目名	音楽史(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学び理解説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義	アメリカの地理・歴史について説明ができる。	アメリカの地理・歴史の復習レポートをまとめる。
2	5月25日	講義	19世紀のアメリカとその音楽。	19世紀のアメリカの復習レポートをまとめる。
3	6月1日	講義	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会について説明ができる。	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会の復習レポートをまとめる。
4	6月8日	講義	ニューオーリンズ・ジャズについて説明ができる。	ニューオーリンズ・ジャズの復習レポートをまとめる。
5	6月15日	講義	スイング・ジャズとビッグバンドについて説明ができる。。	スイング・ジャズとビッグバンドの復習レポートをまとめる。
6	6月22日	講義	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックについて説明ができる。	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックの復習レポートをまとめる。
7	6月29日	講義	ハードバップ、アフロキューバン、そしてウエストコースト・ジャズについて説明ができる。	ハードバップ、アフロキューバン、の復習レポートをまとめる。
8	7月6日	講義	中間試験、及び中間課題の発表・提出。	1～7回の復習レポートをまとめる。
9	7月13日	講義	モードジャズの始まりと発展について説明ができる。	モードジャズの復習レポートをまとめる。
10	7月20日	講義	フリージャズと呼ばれる音楽とそのスタイルについて説明ができる。	フリージャズの復習レポートをまとめる。
11	7月27日	講義	"ビ・バップ"の発展とミュージシャンの変化について説明ができる。	"ビ・バップ"の復習レポートをまとめる。
12	8月3日	講義	ロック、ジャズそれぞれについて説明ができる。	ロックに影響されるジャズの復習レポートをまとめる。
13	8月17日	講義	ジャズと世界の音楽の交流について説明ができる。	ジャズと世界の音楽の交流の復習レポートをまとめる。
14	8月24日	講義	現代、現在のジャズについて説明ができる。	現代、現在のジャズの復習レポートをまとめる。
15	8月31日	講義	期末試験及び、期末課題の発表・提出。	1～14回の復習レポートをまとめる。
準備学習 時間外学習			西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
Music History				

科目名	音楽史(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	スコット・ジョップリン(1868-1917)の復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	デューク・エリントン(1899-1974)の復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971)“ジャズ”について説明できる。	ルイ・アームストロング(1901-1971)の復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ロバート・ジョンソン(1911-1938)ロック、ブルースについて説明できる。	ロバート・ジョンソン(1911-1938)の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	チャーリー・パーカー(1920-1955)インプロヴィゼーションについて解説できる。	チャーリー・パーカー(1920-1955)の復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	マイルス・デイヴィス(1926-1991)について解説できる。	マイルス・デイヴィス(1926-1991)の復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	その他のアフリカン・アメリカンアーティストについて説明ができる。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	12月14日	講義・演習	ジェームス・ブラウン(1933-2006)ソウル、ファンクについて解説できる。	ジェームス・ブラウン(1933-2006)の復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	クインシー・ジョーンズ(1933-)プロデューサーについて説明できる。	クインシー・ジョーンズ(1933-)の復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)について説明できる。	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)の復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	モータウン(1959-1994)ポップスについて解説できる。	モータウン(1959-1994)の研究復習レポートをまとめる。
13	2月1日	講義・演習	スティーヴィー・ワンダー(1950-)ソングライティングについて解説できる。	スティーヴィー・ワンダー(1950-)の研究
14	2月8日	講義・演習	マイケル・ジャクソン(1958-2009)モータウン、ポップスを解説できる。	マイケル・ジャクソン(1958-2009)の研究
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習
準備学習 時間外学習			アフロミュージックについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	著作権(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林 達也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月30日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	6月6日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	6月13日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月20日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月27日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	7月4日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月11日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月18日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	8月1日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	8月8日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月22日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月29日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月5日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月12日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林 達也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月17日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	11月3日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月14日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月21日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月28日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	12月7日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月12日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月19日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	1月9日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月16日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月23日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月30日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月13日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月20日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	AT-ProTools(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	足立優
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	DAWを使用したオーディオ編集技術は現代ミュージシャンにとって欠かせない技術の一つである。よって、一人一台のPCを使用し、各授業ごとにテーマに沿った課題を作成し、基本的な操作方法や各種機能の使用方法など、確実に身に付けられるよう授業を展開する。						
到達目標	Protoolsの基本的な操作方法を理解し、オーディオの編集作業を行える能力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	スタートアップガイダンス 目的と概要説明・macの基礎	講義で作成したものを各自で作成
2	5月27日	講義・演習	DAWとは(各種概要解説)	講義で作成したものを各自で作成
3	6月3日	講義・演習	DAW立ち上げ・セッション作成・ 各種ウィンドウの説明	講義で作成したものを各自で作成
4	6月10日	講義・演習	オーディオインポート・クリップトラックの 作成・ショートカットキーの説明	講義で作成したものを各自で作成
5	6月17日	講義・演習	オーディオの編集 (波形分割・コピー&ペースト・マーカー他)	講義で作成したものを各自で作成
6	6月24日	講義・演習	楽曲の分割・サイズ変更・書き出し	作成したデータの整理・復習
7	7月1日	講義・演習	オーディオの編集 (フェード・トリミング・サイズ変更)	講義で作成したものを各自で作成
8	7月8日	講義・演習	オーディオの編集 (カットアップ)	講義で作成したものを各自で作成
9	7月15日	講義・演習	複数トラックインポート (各種レベル、PAN調整)	講義で作成したものを各自で作成
10	7月22日	講義・演習	オートメーション作成 (ボリューム・PAN・ミュート他)	講義で作成したものを各自で作成
11	7月29日	講義・演習	オートメーション作成 (touch、latch、writeでの作成)	講義で作成したものを各自で作成
12	8月5日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (タクトランジェント他)	講義で作成したものを各自で作成
13	8月19日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (初級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
14	8月26日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (上級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
15	9月2日	講義・演習	実技・筆記試験	試験の準備としてProtoolsの操作を 授業外で練習する
準備学習 時間外学習			Protoolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	AT-ProTools(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	足立優
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	前期で身につけたスキルを実践し、自身の音源政策を自身で行える知識を身につけられるよう授業を展開する。						
到達目標	各自、自宅システムの構築を想定する場合に必要な機材を知り、自らの演奏データの編集、書き出し等を行える知識を有することを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	自宅システムの構築方法 (インターフェース・マイク・ケーブル等について)	各自必要なものを考える
2	10月14日	講義・演習	自宅システムの構築方法とレコーディングについて	各自必要なものを考える
3	10月21日	講義・演習	エフェクト解説 (イコライザー)	講義で作成したものを各自で作成
4	11月11日	講義・演習	エフェクト実践 (イコライザーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
5	11月18日	講義・演習	エフェクト解説 (コンプレッサー)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月25日	講義・演習	エフェクト実践 (コンプレッサーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
7	12月2日	講義・演習	オーディオの録音	講義で作成したものを各自で作成
8	12月9日	講義・演習	オーディオ編集 (クロスフェード・メドレー作成)	講義で作成したものを各自で作成
9	12月16日	講義・演習	オーディオ編集 (クオンタイズ・ストリップサイレンス)	講義で作成したものを各自で作成
10	1月6日	講義・演習	オーディオ編集 (テンポ変更・トランスポーズ)	講義で作成したものを各自で作成
11	1月13日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (プリロール・ポストロール他)	講義で作成したものを各自で作成
12	1月20日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (各種環境設定等)	講義で作成したものを各自で作成
13	1月27日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
14	2月10日	講義・演習	後期の復習・課題作成	作成したデータの整理
15	2月17日	講義・演習	実技・筆記試験	試験準備としてprotoolsの操作を 授業外で練習
準備学習 時間外学習			Protoolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ライブ制作プロジェクト(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	松尾有里 子 堀夏美
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	レポート
2	5月30日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	レポート
3	6月6日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	レポート
4	6月13日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	レポート
5	6月20日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成できる	レポート
6	6月27日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションができるようになる	レポート
7	7月4日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	レポート
8	7月11日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	レポート
9	7月18日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	レポート
10	8月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	レポート
11	8月22日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	レポート
12	8月29日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	レポート
13	9月5日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	レポート
14	9月12日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月19日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内での制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ライブ制作プロジェクト(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	松尾有里 子 堀夏美
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM ! を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM ! を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内での制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Direction Theory(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小林 洋二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種舞台の知識の習得 ・実際のステージ映像を使用して、演出論の考察 ・起業を含めたビジネス知識の習得 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の舞台演出手法を学ぶ ・分野にとらわれない演出理論を学ぶ 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演出を学ぶ	レポート
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して演出を学ぶ	レポート
3	6月2日	講義・演習	オリエンテーション	復習
4	6月9日	講義・演習	ライブ演出プレゼンテーション 2-1	レポート
5	6月16日	講義・演習	ライブ演出プレゼンテーション 2-2	レポート
6	6月23日	講義・演習	演劇・ミュージカル演出考察 2-1	レポート
7	6月30日	講義・演習	演劇・ミュージカル演出考察 2-2	レポート
8	7月8日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 2-1	レポート
9	7月14日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 2-2	ブレンストーミングの実践
10	7月21日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 2-3	実践
11	7月28日	講義・演習	他分野アートの学外実習 4-1	レポート
12	8月12日	講義・演習	ビジネス論・経営理論	レポート
13	8月25日	講義・演習	エンターテイメント演出考察 2-1	レポート
14	9月1日	講義・演習	エンターテイメント演出考察 2-2	レポート
15	9月15日	講義・演習	前期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		自ら進んで、ライブ映像を見て演出を考える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Direction Theory(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小林 洋二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種舞台の知識の習得 ・実際のステージ映像を使用して、演出論の考察 ・起業を含めたビジネス知識の習得 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の舞台演出手法を学ぶ ・分野にとらわれない演出理論を学ぶ 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して演出を学ぶ	前期復習
2	10月13日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して演出を学ぶ	レポート
3	10月20日	講義・演習	オリエンテーション	レポート
4	11月10日	講義・演習	ビジネスマナー・起業論	レポート
5	11月17日	講義・演習	舞台スタッフ総論 2-1	レポート
6	11月24日	講義・演習	演劇・ミュージカル演出考察 2-3	レポート
7	12月1日	講義・演習	演劇・ミュージカル演出考察 2-4	レポート
8	12月8日	講義・演習	エンターテイメント演出考察 2-3	レポート
9	12月15日	講義・演習	エンターテイメント演出考察 2-4	レポート
10	12月22日	講義・演習	海外エンターテイメントの理解 2-1	レポート
11	1月12日	講義・演習	他分野アートの学外実習 4-2	レポート
12	1月19日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 2-4	レポート
13	1月26日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 2-5	ブレンストーミングの実践
14	2月9日	講義・演習	学内イベント演出・舞台監督 2-6	実践
15	2月16日	講義・演習	後期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		自ら進んで、ライブ映像を見て演出を考える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(7) Ba Adv(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なボサノバのパターンを例題にて説明する。	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
2	5月26日	講義・演習	ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なサンバのパターンを例題にて説明する。	次のChapterのエクササイズの実習、未達成箇所の復習
3	6月2日	講義・演習	ボサノバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
4	6月9日	講義・演習	サンバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
5	6月16日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
6	6月23日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
7	6月30日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
8	7月7日	講義・演習	6/8拍子ラテン・ジャズのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
9	7月14日	講義・演習	アフロ・キューバン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なルンバ・パターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
10	7月21日	講義・演習	アフロ・キューバン・ジャズの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なソンゴ・パターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
11	7月28日	講義・演習	ルンバのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの実習、未達成箇所の復習
12	8月4日	講義・演習	ソンゴのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
13	8月18日	講義・演習	ジャズ・フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次の予習と練習、未達成箇所の復習
14	8月25日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月1日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player				

科目名	楽器応用(7) Key SPL(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	キーボード、ピアノを用いてメロディー、リズム、ハーモニーについての理解、応用力を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解、応用力を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための基礎技術を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	8月25日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	9月1日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習		講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	楽器応用(8) Ba Adv(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ジャズ・フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	次のエクササイズの練習、未達成箇所の復習
2	10月13日	講義・演習	ジャズ・フュージョンのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のエクササイズの練習、未達成箇所の復習
3	10月20日	講義・演習	ジャズ・フュージョンのパターンを基本的なコード進行を用いて体得する。(エクササイズ)	次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
4	11月10日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
5	11月17日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
6	11月24日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ファンク)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
7	12月1日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ファンク)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
8	12月8日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(パワース・フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
9	12月15日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(パワース・フュージョン)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
10	12月22日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(6/8拍子)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
11	1月12日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(6/8拍子)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
12	1月19日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(サンバ)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
13	1月26日	講義・演習	譜面の初見力を踏まえたオリジナル楽曲(ソング)のマイナス・ワンを使用して体得する。(ショート・エチュード)	未達成箇所の復習
14	2月9日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	2月16日	講義・演習	イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(8) Key SPL(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	梅村雄也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	キーボード、ピアノを用いてメロディー、リズム、ハーモニーについての理解、応用力を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解、応用力を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための基礎技術を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習		講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	English Intensive Program(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	渡辺傑
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外留学準備に向けた英会話の基礎、応用を学ぶ。						
到達目標	外国人との英会話でのコミュニケーションを取れるようになり、音楽専門用語についても英語での理解を深めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ1	ワークシートを用いた自習と復習
2	5月29日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ2	ワークシートを用いた自習と復習
3	6月5日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ3	ワークシートを用いた自習と復習
4	6月12日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ4	ワークシートを用いた自習と復習
5	6月19日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ5	ワークシートを用いた自習と復習
6	6月26日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ6	ワークシートを用いた自習と復習
7	7月3日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ7	ワークシートを用いた自習と復習
8	7月10日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ8	ワークシートを用いた自習と復習
9	7月17日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ9	ワークシートを用いた自習と復習
10	7月31日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ10	ワークシートを用いた自習と復習
11	8月7日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ11	ワークシートを用いた自習と復習
12	8月21日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ12	ワークシートを用いた自習と復習
13	8月28日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ13	ワークシートを用いた自習と復習
14	9月4日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ14	ワークシートを用いた自習と復習
15	9月11日	講義・演習	前期テスト・総復習	ワークシートを用いた自習と復習
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いた自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、ワークシート				

科目名	English Intensive Program(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	渡辺傑
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	海外留学準備に向けた英会話の基礎、応用を学ぶ。						
到達目標	外国人との英会話でのコミュニケーションを取れるようになり、音楽専門用語についても英語での理解を深めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ15	ワークシートを用いた自習と復習
2	10月16日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ16	ワークシートを用いた自習と復習
3	11月6日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ17	ワークシートを用いた自習と復習
4	11月13日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ18	ワークシートを用いた自習と復習
5	11月20日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ19	ワークシートを用いた自習と復習
6	11月27日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ20	ワークシートを用いた自習と復習
7	12月4日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ21	ワークシートを用いた自習と復習
8	12月11日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ22	ワークシートを用いた自習と復習
9	12月18日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ23	ワークシートを用いた自習と復習
10	1月8日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ24	ワークシートを用いた自習と復習
11	1月15日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ25	ワークシートを用いた自習と復習
12	1月22日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ26	ワークシートを用いた自習と復習
13	1月29日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ27	ワークシートを用いた自習と復習
14	2月12日	講義・演習	ネイティブの発音を意識し、対面型コミュニケーションで単語と文法を学ぶ28	ワークシートを用いた自習と復習
15	2月19日	講義・演習	後期テスト・総復習	ワークシートを用いた自習と復習
準備学習 時間外学習		ワークシートを用いた自習と復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、ワークシート				

科目名	音楽史(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	中町俊自
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学び理解説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの地理・歴史について説明ができる。	アメリカの地理・歴史の復習レポートをまとめる。
2	5月25日	講義・演習	19世紀のアメリカとその音楽。	19世紀のアメリカの復習レポートをまとめる。
3	6月1日	講義・演習	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会について説明ができる。	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会の復習レポートをまとめる。
4	6月8日	講義・演習	ニューオーリンズ・ジャズについて説明ができる。	ニューオーリンズ・ジャズの復習レポートをまとめる。
5	6月15日	講義・演習	スイング・ジャズとビッグバンドについて説明ができる。。	スイング・ジャズとビッグバンドの復習レポートをまとめる。
6	6月22日	講義・演習	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックについて説明ができる。	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックの復習レポートをまとめる。
7	6月29日	講義・演習	ハードバップ、アフロキューバン、そしてウエストコースト・ジャズについて説明ができる。	ハードバップ、アフロキューバン、の復習レポートをまとめる。
8	7月6日	講義・演習	中間試験、及び中間課題の発表・提出。	1～7回の復習レポートをまとめる。
9	7月13日	講義・演習	モードジャズの始まりと発展について説明ができる。	モードジャズの復習レポートをまとめる。
10	7月20日	講義・演習	フリージャズと呼ばれる音楽とそのスタイルについて説明ができる。	フリージャズの復習レポートをまとめる。
11	7月27日	講義・演習	"ビ・バップ"の発展とミュージシャンの変化について説明ができる。	"ビ・バップ"の復習レポートをまとめる。
12	8月3日	講義・演習	ロック、ジャズそれぞれについて説明ができる。	ロックに影響されるジャズの復習レポートをまとめる。
13	8月17日	講義・演習	ジャズと世界の音楽の交流について説明ができる。	ジャズと世界の音楽の交流の復習レポートをまとめる。
14	8月24日	講義・演習	現代、現在のジャズについて説明ができる。	現代、現在のジャズの復習レポートをまとめる。
15	8月31日	講義・演習	期末試験及び、期末課題の発表・提出。	1～14回の復習レポートをまとめる。
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
Music History				

科目名	音楽史(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	中町俊自
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	スコット・ジョップリン(1868-1917)の復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	デューク・エリントン(1899-1974)の復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971) ”ジャズ”について説明できる。	ルイ・アームストロング(1901-1971)の復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ロバート・ジョンソン(1911-1938)ロック、ブルースについて説明できる。	ロバート・ジョンソン(1911-1938)の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	チャーリー・パーカー(1920-1955)インプロヴィゼーションについて解説できる。	チャーリー・パーカー(1920-1955)の復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	マイルス・デイヴィス(1926-1991)について解説できる。	マイルス・デイヴィス(1926-1991)の復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	その他のアフリカン・アメリカンアーティストについて説明ができる。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	12月14日	講義・演習	ジェームス・ブラウン(1933-2006)ソウル、ファンクについて解説できる。	ジェームス・ブラウン(1933-2006)の復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	クインシー・ジョーンズ(1933-)プロデューサーについて説明できる。	クインシー・ジョーンズ(1933-)の復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)について説明できる。	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)の復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	モータウン(1959-1994)ポップスについて解説できる。	モータウン(1959-1994)の研究復習レポートをまとめる。
13	2月1日	講義・演習	スティーヴィー・ワンダー(1950-)ソングライティングについて解説できる。	スティーヴィー・ワンダー(1950-)の研究
14	2月8日	講義・演習	マイケル・ジャクソン(1958-2009)モータウン、ポップスを解説できる。	マイケル・ジャクソン(1958-2009)の研究
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習
準備学習 時間外学習			アフロミュージックについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	著作権(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	林 達也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月30日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	6月6日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	6月13日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月20日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月27日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	7月4日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月11日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月18日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	8月1日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	8月8日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月22日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月29日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月5日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月12日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	林 達也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月17日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	11月3日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月14日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月21日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月28日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	12月7日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月12日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月19日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	1月9日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月16日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月23日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月30日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月13日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月20日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				